

能登半島地震へのJFA支援

2024/2/15

Japan Football Association

JFA



これまでの対応

■ 1月10日理事会での決議内容

・義援金

金額: ①500万円
②募金およびクラウドファンディング等を通じて受ける寄付金等の全額

寄付先: 日本赤十字社
被害が広域に及んでいることから、被災自治体ではなく日本赤十字社を通じて寄付する。

■ 1月28日評議員への報告内容

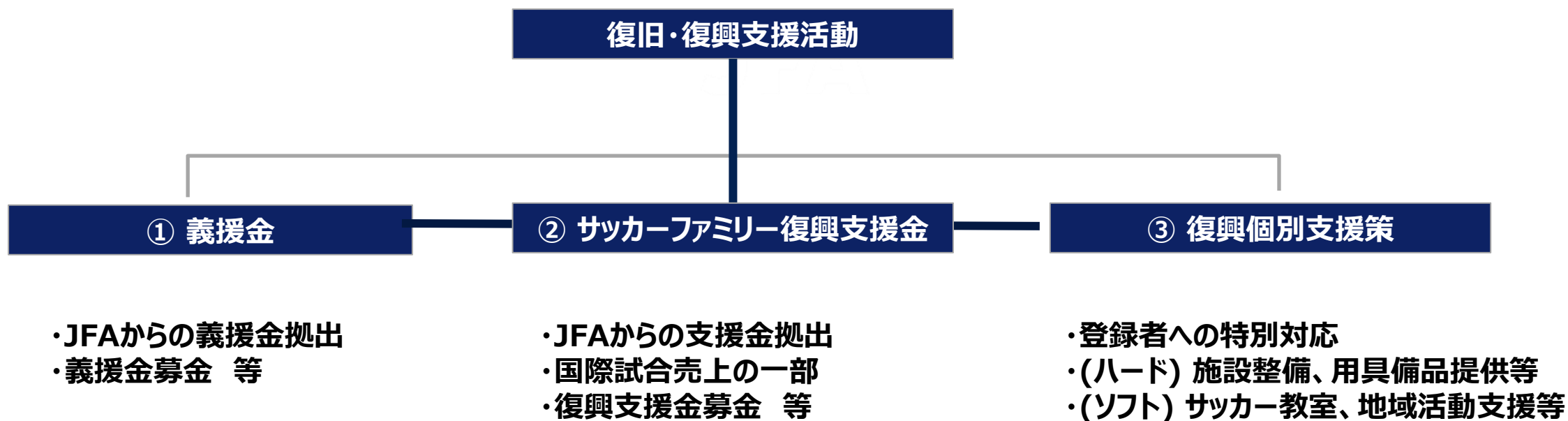
- ・被災地域の登録状況
- ・被災地域のサッカー施設被害状況
- ・JFAの初動対応

田嶋幸三会長 ステイトメントと共に、義援金として500万円寄付
AFCアジアカップでSAMURAI BLUE（日本代表）が喪章をつけてプレーし、試合後に「被災地に力を」の横断幕を掲げる

JFAの取り組み

■ 取り組み方針

- ・ 被災地域に向けて復旧支援としての義援金の拠出を行うと同時に、サッカーファミリーに向けて復興支援としての支援募金や個別施策を多面的かつ中長期的に行う。
- ・ 復興支援策については、被災地域の状況を確認しながら復興フェーズに応じた適時適策を講じていく。
また、地域サッカー協会や各リーグ、選手会やOBOG会など、サッカー界をつなぎながら連携の取れた取り組みを行う。



本日の理事会決議事項

(1) サッカーファミリー登録料免除措置および資格更新に関する特別対応措置の実施

対象者： 被災6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）の登録者（チーム・指導者・審判・役員等）および石川県サッカー協会（FA）が上記地域と同程度の被災状況にあり必要であると認めた登録者
 ※選手登録料および地域・都道府県・各種連盟の登録料については各団体の判断に委ねられる。

期間： 2024年度（2024年4月～2025年3月）
 ※ただし、すでに当該期間の登録料を納入済みの場合、返金を行わず2025年度の登録料を免除する。

指導者： リフレッシュポイント獲得期限延長（未達による失効対応）、特別復活申請・再認定申請の条件緩和

審判： 被災により更新ができなかった審判員に対する救済措置（復活対応）

登録者数 (2022年度)	石川県全体	対象者
サッカー選手	274チーム 8,343人	左記の1割程度を想定
フットサル選手	19チーム 304人	
サッカー指導者	926人	
フットサル指導者	32人	
サッカー審判員	4,250人	
フットサル審判員	223人	
サッカー審判インストラクター	66人	
フットサル審判インストラクター	5人	
役員	32人	

過去実績	対象者	選手	指導者	審判
東日本大震災 2011～ 2015年度	被災して他都道府県へ避難または転居している方を含め、各都道府県サッカー協会の裁量	登録料免除	登録料免除特別措置（リフレッシュポイント期限、未納失効時対応）	登録料の免除（翌年度分）
新型コロナ 2020年度	新型コロナウイルスで経済的に困窮している選手個人	登録料免除（返金対応）	特別措置（リフレッシュポイント期限、未納失効時対応）	特別措置（復活対応）

(2) 復興支援特任リーダーの任命

氏名： 北野孝一

契約期間： 2024年4月1日～2025年3月31日

※ 以降の契約については状況に応じて協議の上決定する。

主な業務：

- ・被災エリアの状況やニーズの把握
- ・被災エリア等におけるサッカーを通じた支援活動の実施
- ・被災エリア等における各種復興支援イベントへの参加
- ・その他JFAが必要と判断した業務

任命理由：

- ・石川県FAの常務理事であり石川県内の事情に精通しているため
- ・地震発生直後より、自ら積極的に復興支援活動に取り組んでいるため

その他： 現職の関係から3月末までは契約を結ばずに個別対応とする

過去の実績： 東日本大震災

加藤 久 (2011年10月から2012年9月末)
手倉森 浩 (2013年1月から2016年1月末)

(3) 能登半島地震復興支援プロジェクトチームの設置

「国内における自然災害等による被害に対する支援事業に関するガイドライン」の「4. 支援内容の決定方法等(3)」に基づき、復興支援プロジェクトチームを設置し、個別支援の具体的な支援内容を協議し、実施する。

参考：国内における自然災害等による被害に対する支援事業に関するガイドラインの抜粋

4. 支援内容の決定方法等

- (1) 支援内容の決定は、原則として、理事会の決議事項とする。
- (2) 但し、緊急を要する場合は、常勤役員による協議を行った上で、会長は理事会での決議前に支援内容を決定することができる。その場合、緊急で実施した支援内容については、会長は直近の理事会に報告を行うものとする。
- (3) また、会長は、特に必要と認める場合は、支援内容を協議し、実施するための組織（復興支援委員会等）を理事会の承認を得た上で設置することができ、当該組織に支援内容を協議させ、実施させることができる。

名称： 能登半島地震復興支援プロジェクトチーム

期間： 2024年2月15日から2025年3月末 ※復興支援活動の進捗状況に応じて延長も検討

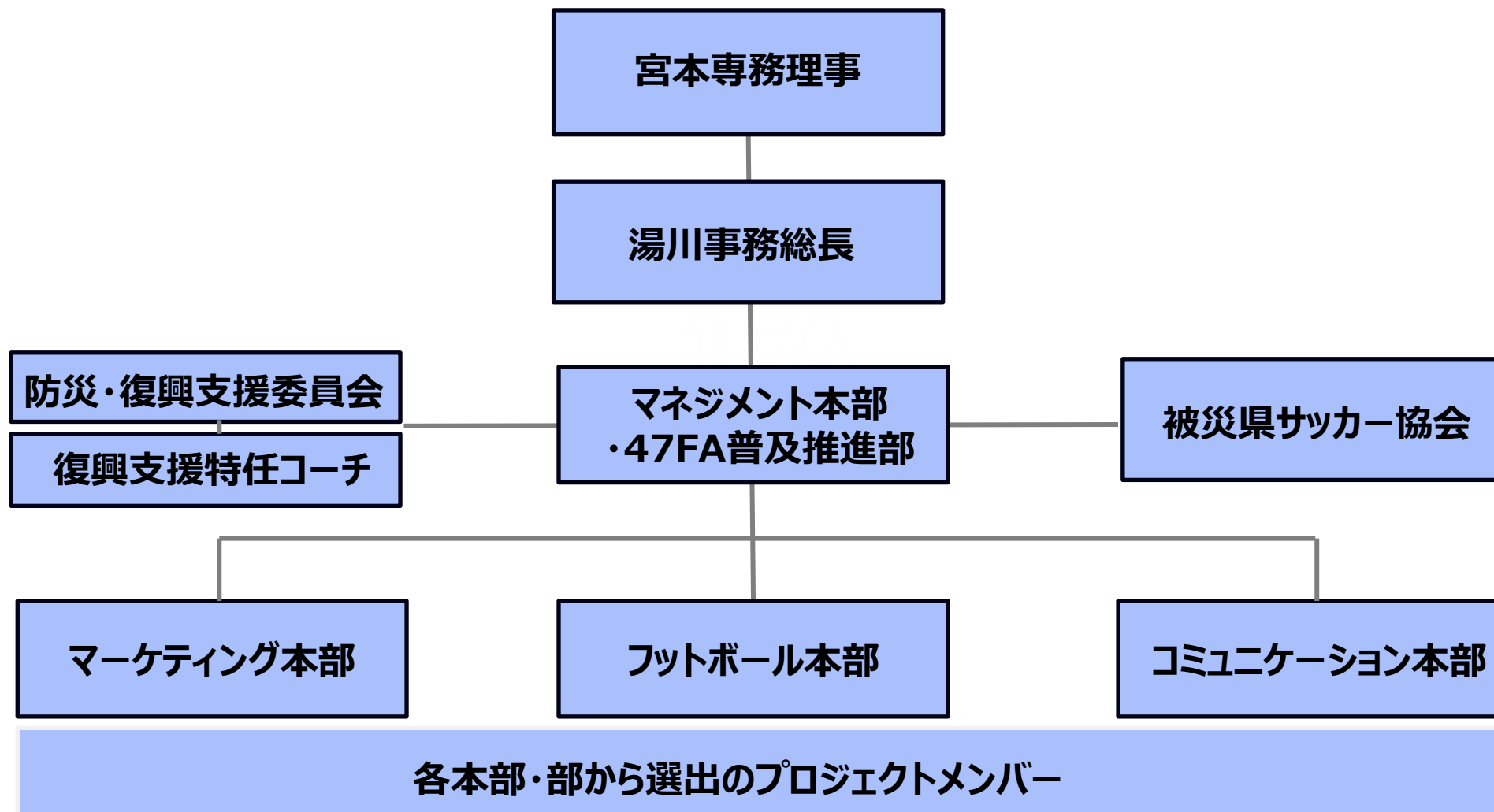
メンバー： (リーダー) 宮本恒靖専務理事、北野孝一復興支援特任リーダー、巻誠一郎防災・復興支援委員長、湯川和之事務総長 以下 事務局員有志
※ 被災県サッカー協会をはじめとした各種団体と連携し支援活動を行う

【現時点で実施を検討している支援内容】

1. 被災地域における子どもたちの心の支援（スポーツ交流や用具提供等）
2. 被災地域で必要とされる支援物資の提供
3. 被災地域および避難先でのチームの交通費や会場費の補助
4. 上記各種支援および被災地の復興につながるクラウドファンディングやサッカーファミリー復興支援金募金の実施

推進体制

- ・宮本専務理事の直轄プロジェクトとしてJFA one team を編成。47FA普及推進部をハブにして全局が連携して対応。



Thank you.

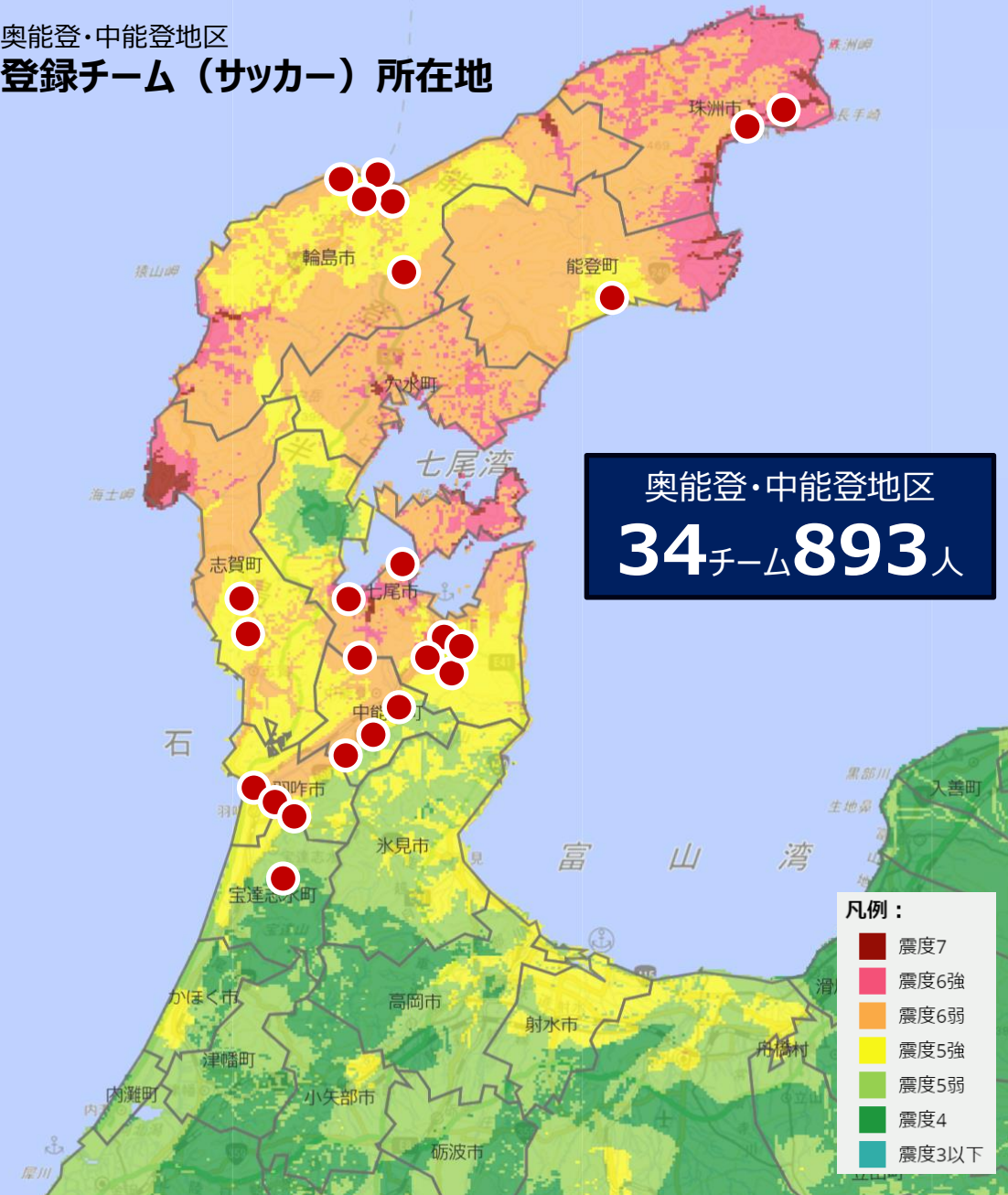
A decorative graphic on the right side of the page, consisting of several overlapping, light gray, rounded rectangular shapes that create a sense of depth and movement, resembling a staircase or a series of steps.

登録者の状況

登録者数 (2022年度)	新潟県	富山県	石川県	福井県
サッカー選手	435チーム 12,223人	241チーム 7,011人	274チーム 8,343人	203チーム 5,782人
フットサル選手	23チーム 363人	23チーム 319人	19チーム 304人	19チーム 337人
サッカー指導者	1,492人	870人	926人	603人
フットサル指導者	45人	21人	32人	35人
サッカー審判員	3,628人	2,458人	4,250人	1,796人
フットサル審判員	1,015人	394人	223人	391人
サッカー審判インストラクター	62人	49人	66人	30人
フットサル審判インストラクター	6人	12人	5人	8人

奥能登・中能登地区

登録チーム（サッカー）所在地



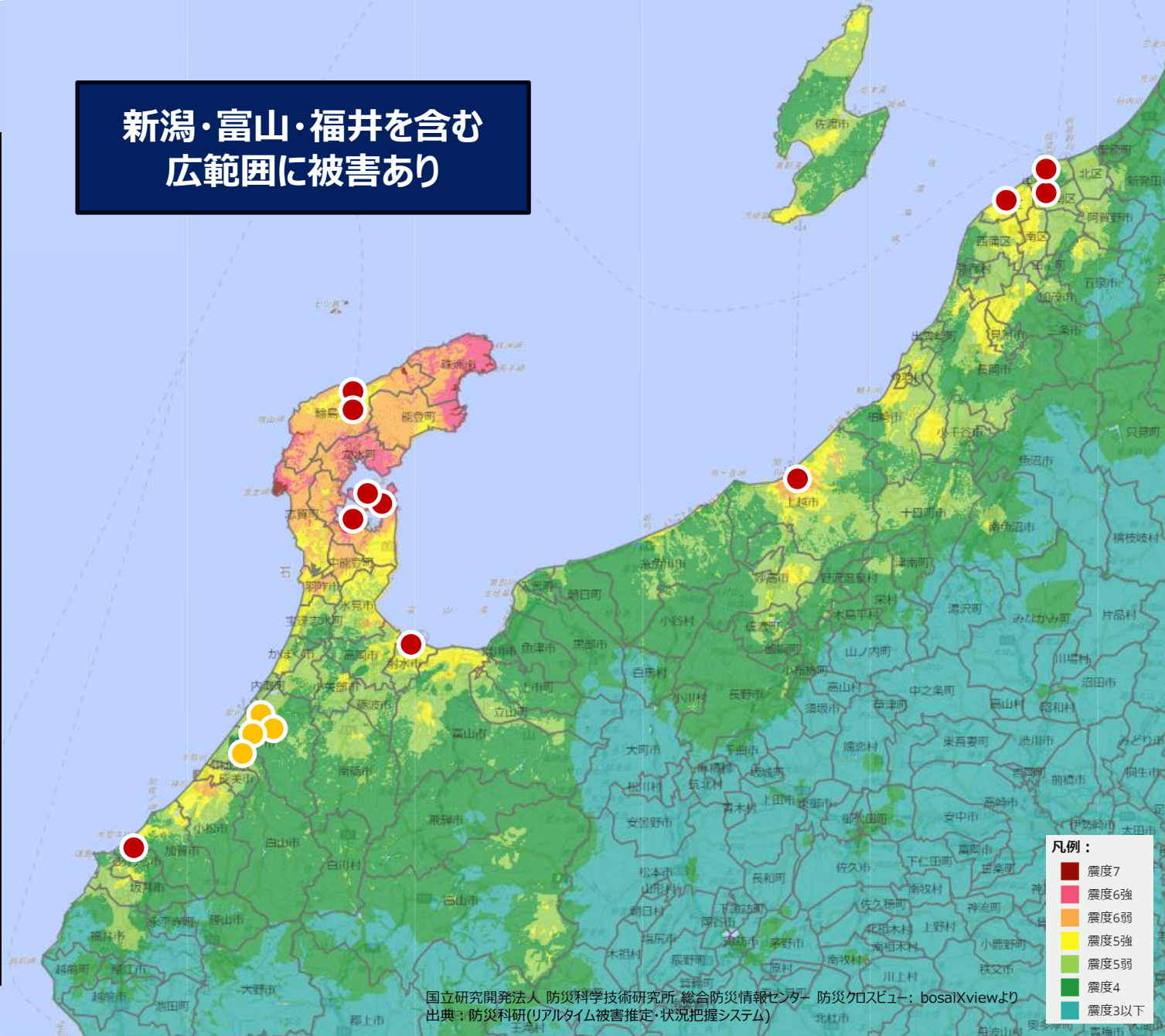
国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター 防災クロスビュー: bosaiXviewより
 出典: 防災科研(リアルタイム被害推定・状況把握システム)

サッカー施設被害状況

2024年1月26日現在

都道府県	主要サッカー施設	状況
新潟県	新潟市鳥屋野公園球技場（新潟市中央区）	被害あり 使用不可
	新潟市陸上競技場補助競技場（新潟市中央区）	被害あり 使用不可
	新潟市西総合スポーツセンター多目的広場（新潟市西区）	被害あり 使用不可
	上越市総合体育館（上越市）	被害あり 使用不可
富山県	オリバースポーツフィールド射水（射水市） ※都道府県フットボールセンター	被害あり 使用不可
石川県	和倉温泉運動公園多目的グラウンド（七尾市）	被害あり 使用不可
	能登島グラウンド（七尾市）	被害あり 使用不可
	能登島マリナーパーク（七尾市）	被害あり 使用不可
	輪島市マリナタウン競技場（輪島市）	被害あり 使用不可
	輪島市総合体育館（輪島市）	被害あり 使用不可
	西部緑地公園陸上競技場（金沢市）	震災対応 使用不可
	いしかわ総合スポーツセンター（金沢市）	震災対応 使用不可
	金沢市総合体育館（金沢市）	震災対応 使用不可
松任総合運動公園体育館（白山市）	震災対応 使用不可	
福井県	あわら市国影グラウンド（あわら市）	被害あり 使用不可

新潟・富山・福井を含む
広範囲に被害あり



国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター 防災クロスビュー: bosaiXviewより
出典: 防災科研(リアルタイム被害推定・状況把握システム)

サッカー施設別被害状況例：石川県七尾市①

和倉温泉運動公園

名称： 七尾市和倉温泉運動公園多目的グラウンド
所在地： 石川県七尾市石崎町チ部32番地1
所有者： 七尾市（担当：交流推進課）
指定管理者：株式会社石川スポーツキャンプ
サッカーコート3面、フットサルコート2面、ビーチサッカーコート1面
※平成29年度スポーツ振興くじ助成金を受け人工芝張り替え実施



写真① ②
サッカーコートA陥没



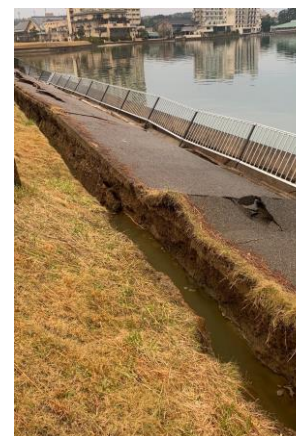
写真③
サッカーコートC隆起



写真④
クラブハウス前隆起



写真⑤ ⑥
周囲ランニングコース
陥没・隆起



サッカー施設別被害状況例：石川県七尾市②

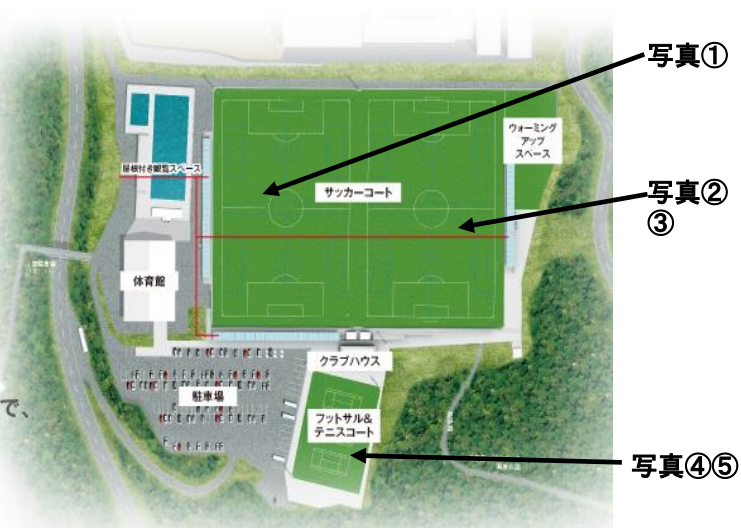
能登島運動公園

名称： 七尾市能登島グラウンド
所在地： 石川県七尾市能登島向田町馬付谷内31番地1
所有者： 七尾市
指定管理者： 株式会社石川スポーツキャンプ
サッカー2面・テニスコート3面・フットサルコート2面（兼用コート）

緑の中に広がる
フィールドで、
スポーツを観て、
感じて、楽しもう。

豊かな自然と充実の設備が融合した
「七尾市能登島グラウンド」。

穏やかな環境でプレーに集中できるので、
いつも以上の成長を期待できます。



写真①
サッカーコート陥没



写真② ③
サッカーコート隆起



写真④ ⑤
フットサル&テニスコート亀裂・陥没



サッカー施設別被害状況例：石川県輪島市

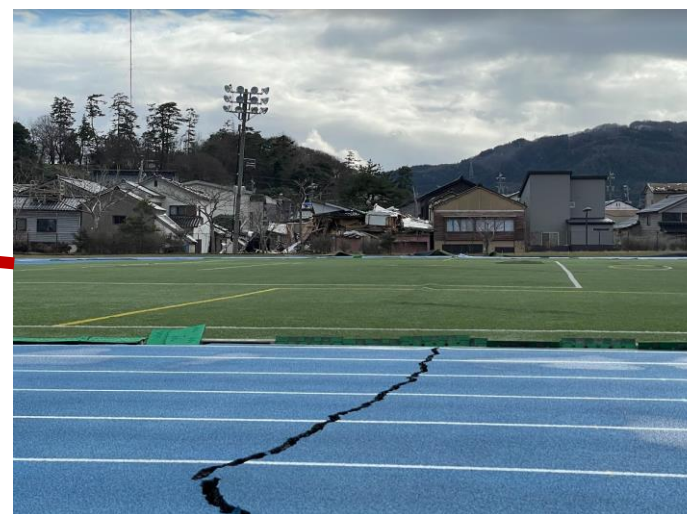
輪島市マリンタウン競技場・サブグラウンド

名称： 輪島市マリンタウン競技場・サブグラウンド
所在地： 輪島市マリンタウン3-1
所有者： 輪島市（教育委員会生涯学習課）
指定管理者：ミズノスポーツサービス株式会社
サッカーフルピッチ1面・8人制ピッチ1面



サブグラウンド（8人制人工芝1面）

全般的に傾斜、段差が発生。
隣接地（多目的広場）は仮設住宅設置済。
隣接する岸壁は激しく隆起



競技場（サッカー人工芝1面）

照明塔が傾斜
陸上トラックひび割れ
人工芝全般的に損傷

サッカー施設別被害状況例：富山県射水市

射水市フットボールセンター

名称：オリバースポーツフィールド射水
所在地：富山県射水市海竜町23-1 電話番号0766-30-3311
所有者：射水市
指定管理者：IMIZU FCパートナーズ

人工芝フィールド2面、屋根付きフットサルコート場
※国の地方創生拠点整備交付金、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金、JFAサッカー施設整備助成金を受けて実施。

射水市フットボールセンター 令和6年能登半島地震 被災状況全体図



JFAの初動対応

田嶋会長 ステイトメント ～「令和6年能登半島地震」被害に対する支援～

1月11日



1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された多くの皆さまに謹んでお見舞いを申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復旧に尽力されている方々に心から敬意を表します。

日本サッカー協会（JFA）は義援金として500万円を寄付するほか、募金活動やクラウドファンディングで集まった寄付金を日本赤十字社に寄付することとしました。

現在も能登半島から新潟にかけて余震とみられる地震が続いており、予断を許さない状況です。被害は広域かつ甚大で、長期的なサポートが不可欠です。今後も北信越地域のサッカー協会など関係者の皆さんに現地の状況を聞きながら、JFAとしてできることに全力を注ぐとともに、全国のサッカーファミリーの皆さんと力を合わせて支援を継続していく考えです。

われわれは被災地の皆さんと共にいます。一日も早く被災地の皆さんが平穏な日常を取り戻せることを心から願っております。

公益財団法人日本サッカー協会
会長 田嶋幸三

日本代表「被災地に力を」横断幕 試合後に掲げる 能登半島地震犠牲者へ、喪章つけプレー

1月14日

